



学校だより 8月号

市田っ子

令和3年7月20日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

子供の力を信じる、引き出す

保護者、地域の皆様、事故なく令和3年度前期前半が終了しました。ご支援、ありがとうございました。

ある日、ある習いごとをしている小学校4年生が、体育館シューズの靴紐を結ぶことに苦戦している姿を見かけました。普段はスムーズに履けますが、中敷きを洗う際、紐を緩めたので左右の長さのバランスがいつもと違うために長さの調整に苦戦していたようです。しばらくして長さを調整し、自分の力で履くことができ活動に参加しましたが、その傍には保護者の方がいて、結ぶ間、じっと我が子を見守っていました。

「お母さん、よく、口出しや手出ししませんでしたね」と声をかけると、穏やかに微笑まれていました。いつもこのスタンスで、お子さんに接しているのだと思いました。こんな時、つい「何やってるの!」、「みんなが待っているでしょ!」と言ってしまったり、「早くしなさい!」なんていながら手を出してしまいますよね。

実は、この我が子待つ時間こそが、子供の成長を促す貴重な時間となります。もし、簡単に口出しや手出しをしていたら、子供にとって「頑張ってるのに」と思ったり、「自分でやった感」を味わうことができません。自分の力でゴールにたどり着くことが大切なのです。

また、このお子さんは、蝶結びの際、紐が緩まないように【写真1】のように片方の紐を引っ張り踵で踏んで、【写真2】のようにもう一方の紐を輪にして、両方の紐が緩まないようにと結び方の工夫をしていました（この工夫は、保護者の方も知らなかったようです）。もし手出ししていたら、この工夫を見ることができませんでした。大人が待つ、子供が自分の力でゴールしたからこそ、子供の成長がわかり、もしできなかつたら、簡単に手伝うのではなく、できるようなきっかけやヒントを与えること、励まし、繰り返し取り組んでみることで、成長に繋がる次の手立てが見つかり、そして子供は自分の力でゴールするのです。子供にとっては、苦労したけど自分の力でやり遂げたことで、満足感や成就感を味わい、次に訪れる困難を乗り越える力、今まで経験したことのない事でも、挑戦しようとする意欲が身に付いていくのです



【写真1】



【写真2】

ところでこの夏休み、毎日の手伝いに挑戦してみてもいいでしょうか（当然無償です）。もし何かが一つ、41日間続けて達成できたとするならば、その達成には大きな意味があります。私は、18:00（時刻は任意）にカーテンを閉めて、完了の報告をするというお手伝いを奨励しました。よく保護者からは、「そんな簡単なことでいいんですか?」と切り替えされました。でも例えば、外出していたとしても18:00に間に合うように帰宅する、突然おなかが痛くなっても18:00に閉める、18:00に閉めるから別の用事の約束や予定を調整する、どうしてもできそうにない時はその理由を伝える等、毎日行うとなるとかなり難易度が高くなります。大人でも継続は難しいと思います。このように、たった一つのお手伝いを続けるだけですが、約束、責任、実行力、コミュニケーション等、社会で必要な力がたくさん含まれています。そして保護者の皆様も、子供の活動に併せ待てること、見守ることに挑戦してみてもいいでしょうか?

それでは事故、ケガに気を付けて、何か一つ達成する、達成した夏休みにしましょう。

校内授業研究会 ～自分の考えを伝えられる児童を育てます～

本校は、『仲間とともに学び、認め合い、高め合う力を育てる授業の創造～「主体的・対話的で深い学び」に結びつく学級活動を通して』を学校課題研究主題として研究を進めています。6月17日（木）と7月8日（木）は、その研究の一環として、校内授業研究会が行われました。2-1と3-1が公開授業、5-1と6-1が研究授業として、指導者の先生や校内の先生方など多くの方が授業を参観し、その授業について、考え、話し合いました。私たち教師は、このようにお互いの授業を見せ合う中で、教え方などの指導力の向上を図っています。



2-1と3-1 挙手がしっかりできています



5-1と6-1 意見がたくさん出ました



授業参観 ～ ぼくたち、わたしたちの授業はどうでしたか ～

7月2日（金）に授業参観が行われました。初めての分散での参観となりましたが、保護者の皆様にご協力いただき、大きな混乱もなく無事に終わることができました。子供たちも自分たちのがんばっている姿を見ていただくよう張り切っていました。4月の授業参観の時より、成長した子供たちの姿はいかがだったでしょうか。子供たちは日々成長しています。今後とも子供たちの成長を温かく見守っていただけたらと思います。



それぞれのクラスで、様々な活動が行われました。

国語 そろそろ（落語） ～ 噺家の気持ちになって試行錯誤しました～

7月7日（水）、9日（金）に4-1が職員室の先生方を招待して、国語「そろそろ（落語）」の発表会を行いました。長い文章を暗記し、チームで助け合い、声の大きさや身振り手振りなど工夫を凝らして発表しました。まるで、噺家の寄席を見ているような素敵な時間を過ごすことができました。

裏面もあります



高座で落語を披露する噺家たち